令和６年 EBE協議会

中学校までの学びの成果・課題を踏まえた授業改善

2024年 １１月 １３日　EBE協議会 中間報告

雄武高校　教務進路部　　臼井　友洋

本日の内容

1　実践報告（中間）

①　これまでの中高交流について

②　CBA学力テスト、学習状況等調査の分析

③　授業実践（国語・理科）

④　今後に向けて

これまでの雄武町中高交流について

・毎年１２月上旬に中高合同の研修会を実施

雄武中学校　→　雄武高校

・雄武中学校で活用している観点別評価のシートを提供
・高校側の校内研修に中学校の教諭を講師として招き、実際に評価を行っている使用感について学んだ

雄武高校　→　雄武中学校

・中高校流会においてICT（metamoji classroom）の活用例等を報告

これまで〝観点別評価〟や〝ICTの活用〟等をテーマに継続した教科間交流が続けられている

①　CBA学力テスト、学習状況等調査の分析（エビデンス）

①-１ 令和６年全国学力学習状況調査（中学校）の結果　課題

国語
- 関係を踏まえて内容を解釈したり、描写をもとに捉える
- 伝えたいことを明確にする
- 自分の考えが伝わる文章になるように工夫する

数学
- 事象に即して解釈する
- 判断や事柄が成り立つ理由、問題解決の方法を数学的な表現で説明する

課題：内容や目的を理解し、根拠を明確にして自分の考えや思いを「説明・表現する」活動と指導の充実

①-２ CBA学力テスト（高校）の結果　課題

国語・数学・英語における苦手領域の分析

国語　漢字（雄0.0%、道3.1％）、四字熟語（雄52.6%、道70.7%）　基礎知識に関する領域

数学　三角比の応用（雄0.0%、道12.8%）、確率（雄5.3%、道22.5%）　記述を含む応用問題に関する領域

英語　英作文（雄31.6%、道46.1％）、英文の要点を捉える（雄26.3%、道40.1％）　表現や内容理解領域

↓

中学校の課題を踏まえて、特に主要３科目は、苦手領域を意識した交流を行う

①-３　各種学力テストから考えられる今回の目標

令和６年度の雄武町中高交流会のテーマ

①各教科で学習の内容や目的を理解し、根拠を明確にして
自分の考えや思いを「説明・表現する」活動と指導の充実
②特に、主要３科目では、苦手領域の指導に関する交流

月	取組・スケジュール
5～7	雄武中学校と「中学校・高校の学習状況等に関する意見交換」を実施(5/23　町中高連携協議会)、雄武中学校へのヒアリングにより、中学校までの学びの成果を把握
7	校内研修により、本事業を通して育成する資質・能力の目標と授業改善の取組プランを設定　校内での呼びかけ
7～11	目標を生徒と共有し、授業実践 ・教務部長間の情報交換、課題に向けた各教科のアンケート
12	授業実践、中高交流会・研究協議（中高連携協議会）

②　中高間の交流について

②-１　中高交流を促す働きかけ①

・これまでの中高校流会では、テーマが決まっても、なかなか交流が進まなかった・・・

１　中高教務部長間同士の打ち合わせを密に行う

- 学力テストの結果の共有
  →　町内小中高における学習に関する会議での情報共有
- メールでのやりとり
- 中学校側でのアンケート実施の呼びかけ
  →　打ち合わせ等で中学校の方へ呼びかけ

中高の教科担当者同士の交流を促すためには、教務部長間の連携・事前アンケートが良い効果があった

②-２　中高交流を促す働きかけ②

Googleフォームを使用したアンケート

令和６年１０月１１日（金）
雄武高校教務部

令和６年　中高交流会に向けて

令和６年度の中高連携協議会において、中学校、高校それぞれで実施されている学力検査の分析の結果から、**自分の考えや思いを説明・表現する力**が中高共通の課題ということが分かりました。そこで、１２月６日に行われる中高交流会では、この力を育成することをテーマに各分科会での交流を行っていただく予定です。

つきましては、交流会に向けてアンケートを実施し、各教科における状況を調査します。大変お忙しい中と存じますが、グーグルフォーム上で次の質問を**１０月２５日（金）**までにご回答をお願い致します。

実際に中学校へ配布した文書の一部

［グーグルフォーム上での質問内容］

質問１　担当教科

質問２　授業のどのような場面で「自分の考えや思いを説明・表現する」活動を入れていますか？

質問３　各教科において、「自分の考えや思いを説明・表現する力」を高めるための工夫は行っていますか？（必須ではありません）

グーグルフォームへのリンク（ＱＲコード）です　→

中高共通のアンケート項目とQR

②-３　中高交流を促す働きかけ②

Googleフォームの結果

令和６年度　中高交流会に向けたアンケート（雄武中学校用）（回答）

ファイル　編集　表示　挿入　表示形式　データ　ツール　拡張機能　ヘルプ

Form_Responses1

タイムスタンプ	（1）科目を教えて	（2）授業のどのような場面で「自分の考えや思いを説明・表現する」活動をみていますか？（例　グループワーク、発表　など）	（3）各教科において、「自分の考えや思いを説明・表現する力」を高めるための工夫
2024/10/12 7:46:35	4 社会	小テストや定期試験	長期休業中の課題として、国調べ・人物調べを行い、雄中祭などで展示、全体に交流し
2024/10/16 14:20:39	3 英語	新出文法を使って身の回りのことを表現する活動	自分の身の回りのことを表現し、お互いにそれを伝え合うこと。
2024/10/16 17:29:32	2 数学	ペアワーク	説明する時間をあえてとったりしています。
2024/10/17 9:47:19	7 保健・体育	テスト、学習カード、レポート、相互評価など	
2024/10/21 16:44:02	5 理科	実験後のグループワーク	「相手に伝わるように」を声がけしている
2024/10/22 9:43:40	2 数学	解答の説明	説明させることを適宜取り入れている
2024/10/22 15:21:34	1 国語	グループワークの様子、ワークシートの記入状況	テンプレートの提示、文字以外での表現方法の指示
2024/10/22 16:02:56	3 英語	単元テストの英作文、ペアやグループでの会話活動やプレゼンテーション、英作文課題	単元ごとの振り返りシート記入。プレゼンテーションや会話テスト後の振り返り活動。
2024/10/25 10:55:34	1 国語	特支なので、個別に発表させるように心がけてます。	語彙が少ないので、教える側もいろんな表現方法を使うようにしています。慣用句とか
2024/10/25 10:57:32	6 音楽	合唱練習でのパート練習、箏の実技グループワーク、リコーダー実技グループでの教え合い	実技のグループワークにおいて、「こうしたら上手くできる」「もっとこうした方がい
2024/10/25 11:20:18	8 家庭科	調理実習での教え合い・協力作業、被服製作での教え合い、座学授業での意見交流など	和服実習・高齢者疑似体験・保育実習などの体験活動の充実、
2024/10/28 7:58:51	7 保健・体育	作戦など	特別支援学級なのでやる機会がありません
2024/10/28 17:16:05	1 国語	正確に読み取る必要がある場面で、言葉の意味を確認したり、本文中の言葉を使って絵に書いて表現するなど書いたものを見ています。	活動が正確に実行できるように指示することを明確にする、短く簡単にするように心が

中高全ての教員から返答をいただき、実践の共有ができた

②-４　中高交流を促す働きかけ②

［ Googleフォームの結果まとめ］

①　どのような場面で活動をみていますか？

- グループワーク、ペアワークの時間をつくる
- ワークシートの記入内容の分析
- グループワーク前の作戦会議の時間を設ける

②　自分の考えや思いを説明・表現する力を高めるための工夫

- 学校祭での展示等、授業外でも交流
- 分かりやすく伝えるように、いつも声をかける
- 個人、グループで振り返りをおこなう

- 特別支援学級への視点

③　授業実践（国語・理科）

③-１　実践交流　国語科での交流

「自分の考えや思いを説明・表現する」するための授業改善
中学校：授業では必ず班隊形で、お互いの進捗を確認させる
高　校：背景が難しい作品で、絵や具体例を示し説明をさせる

［高校］山本　教諭
単元「羅生門」対象：高１言語文化
難しい言葉が多くイメージが難しい作品。作中の重要な情景・場面を絵を使って説明する

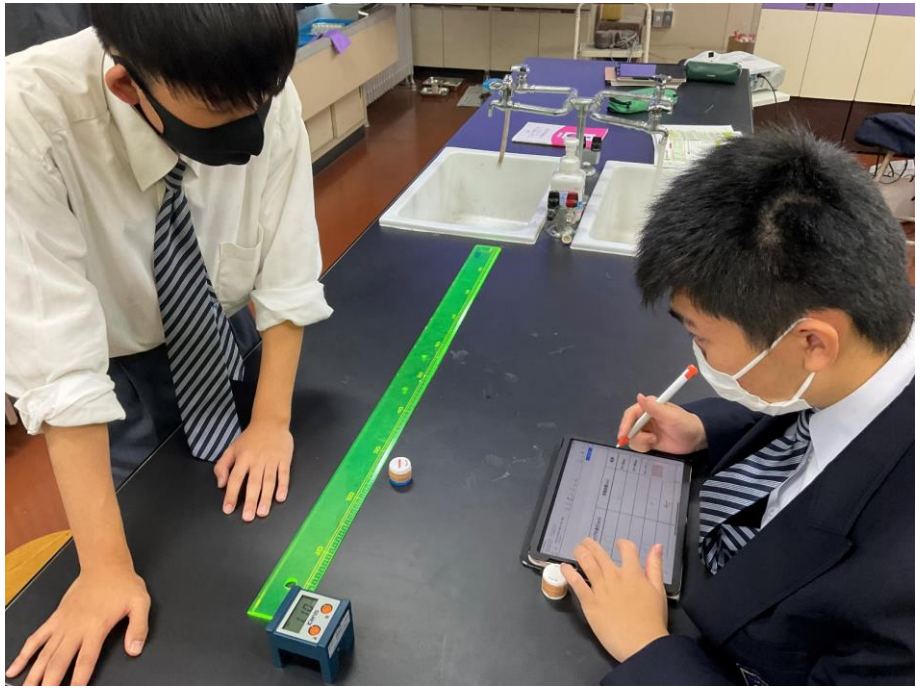
作品から、情景を正しく読み取れているか

生徒の作品

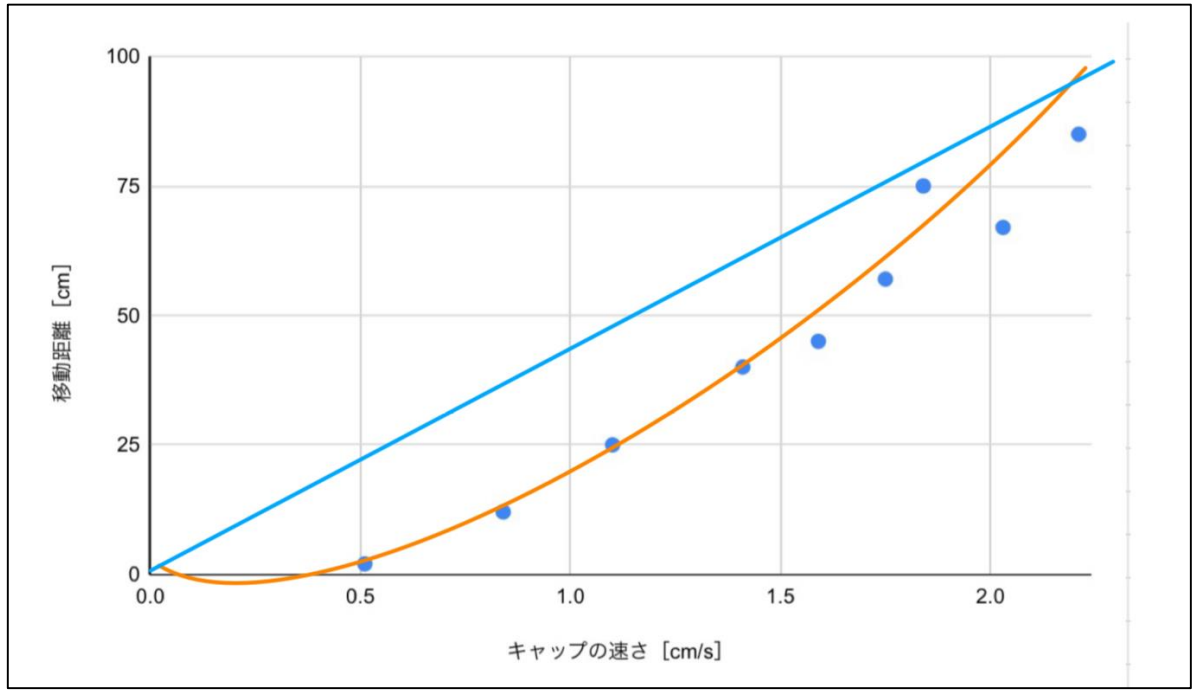
③-２　実践交流　理科での交流

「自分の考えや思いを説明・表現する」するための授業改善
中学校：実験後のグループワークでは「相手に伝わるように」
高　校：実生活の現象をイメージして説明する

単元「仕事と運動エネルギー」対象：中３理科、高２物理基礎

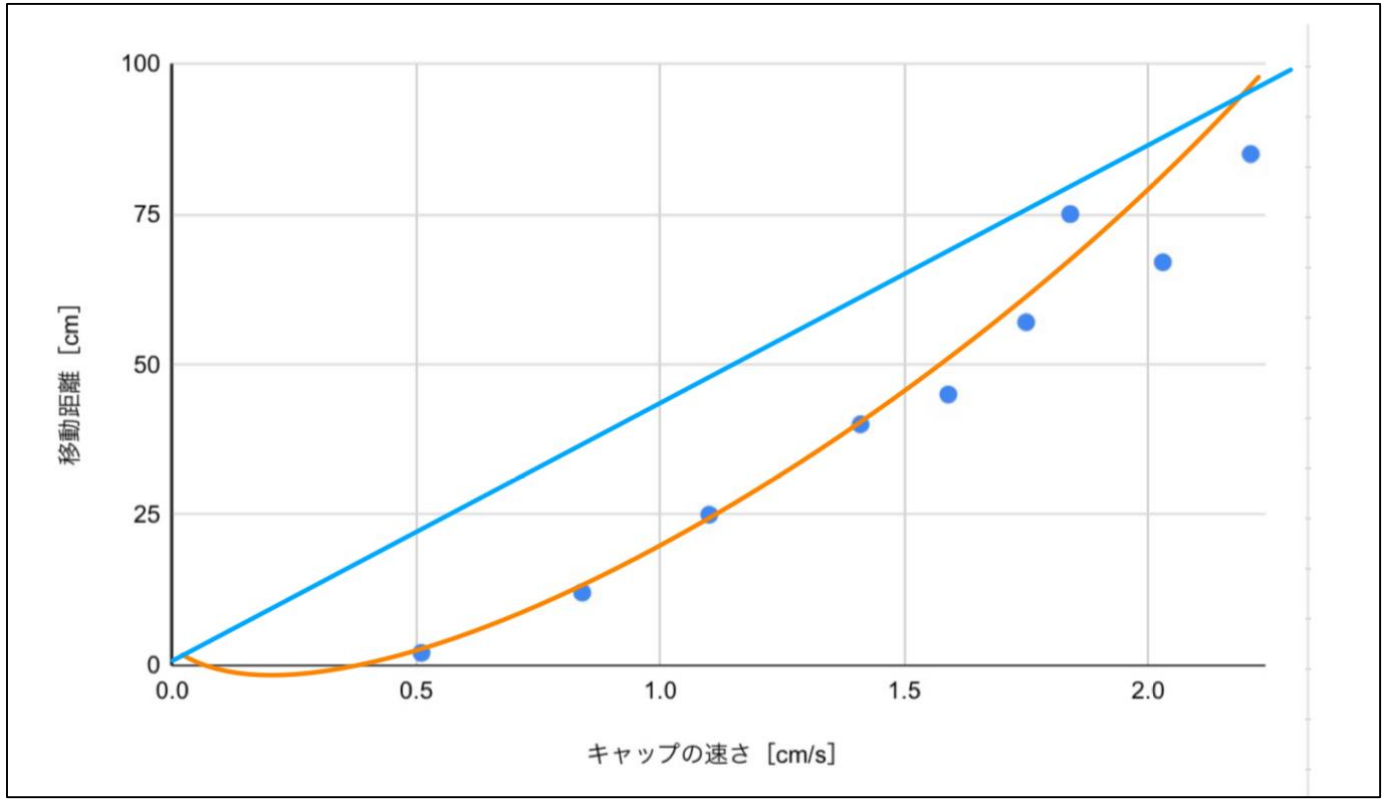


実験の様子



実験結果

③-３　実践交流　理科での交流



実験結果

「仕事と運動ネルギー」

［中学校］鷲頭　教諭
提示したキーワードを適切に使用して説明できているか？

［高校］臼井
自動車がブレーキをかけた際の停止までの距離との関係

④　まとめ・今後に向けて

４ まとめ・今後に向けて

・中高共通の課題「自分の考えや思いを説明・表現する力を育む」を設定し、教科交流を行う

↓

・教務部長間の交流、教科に関するアンケート

・一部、実践的な取組ができた教科がある

・特別な配慮を要する生徒へのアプローチについて

↓

今後、それぞれの授業公開週間での交流や１２月の中高交流会でより深く実践の交流をしていく

ご清聴ありがとうございました